

令和5年4月12日(水)

教室はまちがうところだ

蒔田晋時（まきた しんじ）著・子どもの未来社刊

みんなどしどし手を上げて

まちがった意見を 言おうじゃないか まちがった答えを 言おうじゃないか
まちがうことを おそれちゃいけない まちがったものを わらっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを

ああじゃあないか こうじゃあないかと みんなで出しあい 言い合うなかで
ほんとのものを見つけていくのだ そうしてみんなで 伸びていくのだ

いつも正しくまちがいのない

答えをしなくちゃならんと思って そういうとこだと思っているから

まちがうことがこわくてこわくて 手も上げないで小さくなって

黙りこくって時間がすぎる

しかたがないから先生だけが 勝手にしゃべって生徒はうわのそら

それじゃあちっとも伸びてはいけない

神様でさえまちがう世のなか ましてこれから人間になろうと

している僕らがまちがったって なにがおかしいあたりまえじゃないか

うつむきうつむき そうっと上げた手 はじめて上げた手

先生がさした どきりと胸が大きく鳴って

どぎっどぎっど体が燃えて 立ったとたんに忘れてしまった

なんだかぼそぼそしゃべったけれども なにを言ったか ちんぷんかんぷん

私はことりと座ってしまった

体がすうっと涼しくなって ああ言やあよかった こう言やあよかった

あとでいいこと浮かんでくるのに それでいいのだ いくどもいくども

おんなじことをくりかえすうちに それからだんだんどきりがやんで

言いたいことが言えてくるのだ

はじめからうまいこと言えるはずないんだ はじめから答えが当たるはずないんだ

なんどもなんども言ってるうちに まちがううちに

言いたいことの半分くらいは どうやらこうやら言えてくるのだ

そうしてたまには答えも当たる まちがいだらけの僕らの教室

おそれちゃいけないワラッちゃいけない 安心して手を上げろ 安心してまがえや

まちがったってワラッたり ばかにしたりおこったり そんなものはおりゃあせん

まちがったって誰かがよ なおしてくれるし教えてくれる

困ったときには先生が ない知恵しぼって教えるで そんな教室作ろうやあ

おまえへんだと言われたって あんたちがうと言われたって

そう思うだからしょうがない

だれかがかりにもワラッたら まちがうことがなぜわるい

まちがってることわかればよ

人が言おうが言うまいが おらあ自分であらためる

わからなけりゃあそのかわり 誰が言おうとこずこうと

おらあ根性曲げねえだ そんな教室作ろうやあ